

六番札所『安楽寺』からスタートして熊野神社や七番札所『十楽寺』をめぐる、山麓の道を進むと扇状地一帯にブドウ畑が広がる。デラウェアや巨峰、ピオーネなどが栽培されており、ブドウ産地として名高い。しばらく進むと、宮川内ダムに出る。桜並木に囲まれた、静かな休憩所を過ぎれば、コース終点の平間に到着。ダム湖のほりにある道の駅どなりには、トイレや東屋があるので休憩しよう。たらいうどんで名高いこの地は山あいにとん店が並び、老若男女でにぎわう。

距離	7.4 km	所要時間	2時間 30分
体力レベル	山歩きの経験がなくても大丈夫。履き慣れた歩きやすい靴で歩こう。	技術レベル	高低差が少なく、足場の良い比較的歩きやすい道が続く。
スタート地点までのアクセス	最寄り駅・バス停		
徳島バス「鍛冶屋原行き」で『東原』下車。	◎START地点 鉄道 — バス 徳島バス『東原』から徒歩約8分 ◎GOAL地点 鉄道 — バス —		



四国八十八ヶ所霊場六番札所『安楽寺』



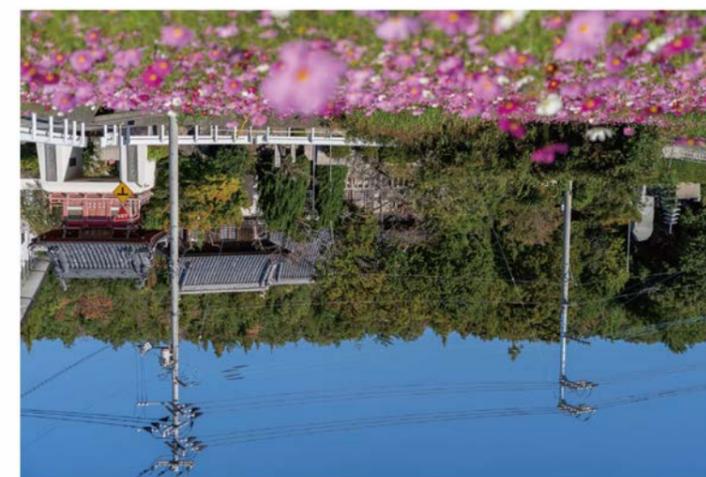
本道脇の側道へと入っていく



高速道路の下を通る



国道へと続く道を行く



特色
六番札所安楽寺から熊野神社や七番札所十楽寺をめぐる、山麓の道を進む。クヌギやコナラの落ち葉を踏みしめて桜並木に囲まれた休憩所を過ぎれば、終点の平間に到着。

区間
安楽寺～熊野神社～十楽寺～高尾谷橋～馬越池～見坂橋～宮川内ダム～平間

丘陵地果樹園のみち

9

省冒険

歩きの国

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263
上板町 建設課 088-694-6812
阿波市 商工観光課 0883-36-8722



四国のみち
徳島県 HP
制作 2023.3

コース周辺の見どころ

MAP A 熊野神社



鎌倉時代に地藏寺和尚が勧請したとされる『熊野神社』。山門をくぐると、屋根付きの回廊が拝殿まで続く。澄みきった空気で覆われた静かで落ち着いた境内にはいくつか社や祠があるのでゆったり参拝しよう。

MAP B 十楽寺



四国八十八ヶ所霊場七番札所。朱塗りの鐘楼門が特徴で、境内には見事な老松が茂る。寺の名前には人間が持つ8つの苦しみを逃れ極楽浄土の10の楽しみを得られるようにとの願いが込められている。

踏破認定写真 撮影ポイント

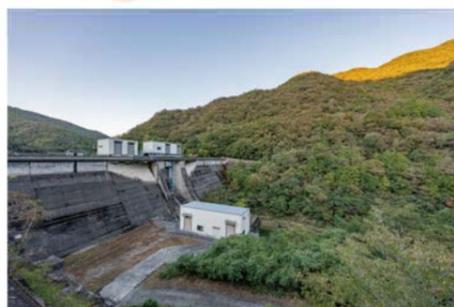


踏破制度



宮川内休憩所

MAP C 宮川内ダム



宮川内ダムは治水と灌漑の多目的ダムで、昭和39年に完成した。ダム湖の左岸に立つ桜並木の一角には、ダム湖を見渡す休憩所がある。訪れる時期によって変わっていくダムの表情を眺めてみては。

MAP D 道の駅どなり

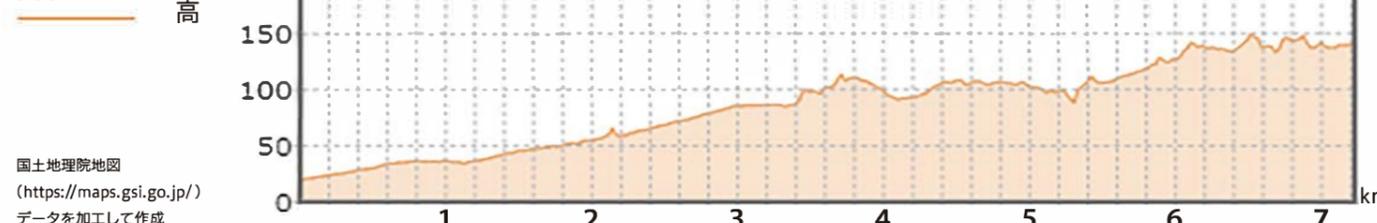


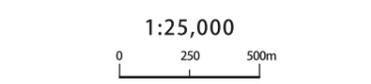
宮川内ダム湖のほりにある道の駅。名物・たらいうどんの手打ち体験コーナーや地元の農家が育てた野菜や惣菜などの販売コーナーがある。ここでしか食べられない個性的なオリジナルグルメにも注目。

里程表



高低差表





	四国のみち
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは
四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。
この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。